

ICTを活用した新しい授業作りの授業連携として中学部2・3・4組の総合的な学習の時間でVR（バーチャルリアリティ）を活用した授業、「VRたんけん」を行いました。VRは視覚や聴覚といった感覚を刺激することで、見かけは本物ではないのですが本質的には同じであるような環境を作り出す技術のことを指します。

「Google Earth VR」を使って、目的の場所を鳥のように上空から探したり、建物の中に入ってみたり、周辺を散策したりと空間の中にいることを感じながら探検をしました。生徒たちは、世界一高い建物見上げて、大きさに圧倒されたり、高い場所から恐る恐る足元をのぞき込んだり、巨人のように向日が丘支援学校のグラウンドに座りこんで校舎の中を覗き込む生徒もいました。事前学習で「ここが世界一」という絵本を題材にして、自分が行ってみたい場所をiPadの「Google Earth」で下見し、「VRたんけん」での行先を決定しました。VRゴーグルをつけた生徒たちからは初めて見る景色の中での発見に驚きと興奮の声が上がっていました。様子をYOUTUBEでも配信しますのでご覧ください。

VRで探検した場所

- ・富士山
- ・世界一高い建物 プルジュハリファ
- ・東京スカイツリー
- ・ディズニーランド
- ・ユニバーサルスタジオ
- ・京都市水族館
- ・レゴランド
- ・世界一大きい水族館 長隆海洋王国
- ・自分の家の近所
- ・向日が丘支援学校の周り
- ・宇宙空間
- ・リニア博物館 など



<単元目標>

- ・VRを使って、行きたい仮想空間へ行くことができると知り、VR空間の中で様々な情報を得ることができる（知識技能）
- ・VRを使用して行きたい場所をiPadや資料から考え、ワークシートに表現することができる（思考力、判断力、表現力等）
- ・VRやGoogle Earth VRを使用することに興味をもち、意欲的に学習することができる（学びに向かう力、人間性等）